

〈ご協力のお願ひ〉

医療・介護現場における腰痛の実態および腰痛予防対策に関する調査・研究

調査実施予定期間：2022年12月上旬～2023年3月

神戸市兵庫区駅南通5丁目1-2 健康ライフプラザ5階
一般社団法人 日本ノーリフト協会
代表理事 保田 淳子

大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学 社会医学講座 衛生学部門
特任准教授 北原 照代

日本ノーリフト協会は、これまでに病院や施設での福祉機器を有効に活用した環境労働マネジメントの推進と、ケアの質の向上を目的に全国でのセミナーや講演会を行ってきました。しかし、医療・介護の労働や健康に関する実態の把握は不十分であり、有効な予防対策の実施は、まだまだ遅れているのが現状です。

当協会は、2009年に日本で初めて医療や介護職の腰痛予防対策「ノーリフト」を紹介し、その後2012年に約7000名の腰痛関連調査を実施しました。2012年の調査では、80%以上の看護師や介護職が「この仕事に就いてから腰痛を経験している」ことが明らかになりました。調査結果は、The 25th Quadrennial Congress of the International Council of Nurses（国際看護師協会第25回大会、2013年）にて報告させていただきました。わが国では、2013年に厚生労働省の腰痛予防対策指針が改訂され、全国47都道府県で厚生労働省主催の医療と介護職対象腰痛予防対策セミナー（本協会より講師派遣）が3年間実施され、2016年のニッポン一億総活躍プランに「ノーリフティングは介護ロボットに並ぶ次世代型介護方法」と紹介されました。そして、2022年には「ノーリフティングケア」が看護師国家試験基準問題となっております。

このように、10年で医療や介護職の腰痛予防対策は大きく動いてきています。そこで当協会は、10年ぶりに、医療・介護現場における腰痛の実態、及び腰痛予防対策の現状を明らかにすることを目的に、滋賀医科大学と共同で大規模調査を実施することにしました。「医療・介護に伴う労働負担の軽減を図ることが、ケアの質や働く環境の改善につながる」という視点に立ち、各組織への報告や連携を図り、医療・介護における腰痛予防対策をより推進していきたいと考えております。

なお、本調査は、施設関係者様の費用負担は一切ございません。また、調査項目は、個人の特定ができない項目となっており、個人情報保護の観点から無記名自記式調査とさせていただきます。

ぜひ、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

敬具

記

調査手順書

別紙 1	調査の参加申請書
別紙 2	承諾書
別紙 3	実施説明書(見本)

以上

調査手順書

調査実施予定期間：2022年12月上旬～2023年3月

目的 医療・介護職の労働や健康に関する実態の把握

- ・ 医療・介護職の腰痛訴え率
- ・ 移乗などの身体負担が多いケア提供に関する現状把握
- ・ 施設や病院における腰痛予防対策サポートの取り組みや実態の把握

対象者 病院や施設で働く医療・介護職

(予定：老人介護施設及び病院関連 各1万人 計2万人)

方法 ※次ページに法人（病院・施設など）様より送付していただく資料を書き出しております。

- ① 当協会から法人（病院・施設など）様へ、本調査への協力依頼文書、調査参加申請書、承諾書様式を送付
- ② 調査への協力について法人内で検討
- ③ 調査に参加する病院・施設などから当協会へ、調査参加申請書（別紙1）及び承諾書（別紙2）を送付
- ④ 申請書・承諾書を受理後、当協会から調査に参加する病院・施設などへ、職員に配布していただく調査説明書（別紙3）を送付
- ⑤ 病院・施設などにて対象者（職員）へ調査説明書を配布・説明
- ⑥ 対象者各自で URL もしくは QR コードから Google フォームにアクセスして回答
- ⑦ 日本ノーリフト協会にてデータを取りまとめ分析
データ取りまとめ分析協力
滋賀医科大学（データ分析、総括）
東京工業大学（グラフ作成の助言・協力など）
- ⑧ 集団としての結果報告
 - * 当協会セミナーやノーリフトコーディネーター養成講座にて報告
 - * 論文として公表予定

留意事項

- ・ 法人（各施設・病院）として本調査の趣旨を理解した上で調査への参加を決定した旨、事前に各施設・病院等の調査担当者に説明してください。
- ・ 各施設・病院等の調査担当者には、下記の倫理的配慮事項を説明し、対象者に回答を強制しないよう、十分周知してください。

【倫理的配慮事項】

1. 不利益等

- ・ アンケートへの回答に 20～30 分の時間がかかります。

2. 個人情報の保護

- ・ 本調査は、無記名自記式で実施するため、回答者個人が特定されることはありません。
- ・ 統計的に処理された結果のみを公表し、職場等が特定されることはありません。
- ・ 得られた情報は、研究目的以外には使用しません。

3. 同意及び撤回

本調査への協力は回答者の自由意思によるもので、途中で回答を辞めることができます。調査協力に同意しない場合であっても、回答者はなんら不利益を受けることはありません。また、病院・施設として、調査実施を承諾した後でも、随時、協力を撤回できます。

4. 倫理委員会の審査

本調査は、滋賀医科大学研究倫理委員会【承認番号 RRB22-030】にて、許可を得ています。

5. 本調査によって得られた結果は、論文として公表させていただき、当協会セミナーにて報告させていただきます。

送付関連資料

別紙 1	調査参加申請書	} ※調査参加するにあたっての書類になります。ご返送ください。
別紙 2	承諾書	
別紙 3	実施説明書(見本)	※上記でお申込み後、当協会にて QR コードを作成し送付いたします。

【調査に関連した質問やお問合せ先】

一般社団法人日本ノーリフト協会事務局

TEL : 078-862-8503

メールアドレス : noliftcare@gmail.com

平日（月曜日～金曜日）10：00～17：00

調査参加申請書

別紙 1

本調査にご協力いただける法人様は、施設/病院ごとに下記必要事項をご記入の上、別紙承諾書とともに、メールまたは、FAX にて日本ノーリフト協会事務局へご提出下さい。調査方法は WEB (Google フォーム) での回答となります。

お問合せ先：一般社団法人日本ノーリフト協会事務局

メール noliftcare@gmail.com / FAX 078-862-8508 / TEL 078-862-8503

※平日 10:00~17:00 以外の時間帯でのお問合せの場合はメールにてご連絡下さい。

申込日： 年 月 日

法人名 施設/病院名			
ふりがな 担当者氏名			
連絡先	TEL	メールアドレス	
※下記「ユニット・病棟名」が設問に入ります。お間違いのないよう記載下さい。			
ユニット・病棟名	調査人数	ユニット・病棟名	調査人数
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
合計			名

2022 年腰痛調査の進め方

法人



一般社団法人
日本ノーリフト協会

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| ② 調査への協力について法人内で検討 | ① 協力依頼文書等を送付 |
| ③ 調査参加申請書と承諾書を日本ノーリフト協会に提出 | ④ 申請書・承諾書受理 |
| ⑤ 担当者が調査説明書を印刷し、対象者へ配布・説明 | ④ 職員向け調査説明書を送付 |
| ⑥ 腰痛調査実施 (対象者各自が Google フォームに入力) | ⑦ データの取りまとめと分析 |
| | ⑧ 集団としての結果を報告・公表 |

調査・研究フィールド長の承諾書

承諾書

滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門 特任准教授 北原照代 殿

下記の調査・研究について、当施設で実施し協力することを承諾します。

記

研究課題 医療・介護現場における腰痛の実態および腰痛予防対策に関する調査・研究

研究責任者 北原 照代

所属 滋賀医科大学 社会医学講座 衛生学部門

職名 特任准教授

西暦 年 月 日

住所

施設・医療機関名

施設・医療機関長

(公印を押印)

以上

調査にご協力頂きます方々へ

医療・介護現場における 腰痛の実態および腰痛予防対策に関する調査

調査ご協力のお願いと目的

日本ノーリフト協会は、2009 年に日本で初めて医療や介護職の腰痛予防対策「ノーリフト」を紹介し、その後 2012 年に約 7000 名の医療・介護職の方々にご協力頂き腰痛関連調査を実施いたしました。同調査では、80%以上の医療や介護職が腰痛を経験していることが、明らかになりました。この 10 年で医療や介護職の腰痛予防対策は大きく動いてきています。このたび、当協会は、滋賀医科大学と共同で、医療・介護現場における腰痛の実態、及び腰痛予防対策の現状を明らかにすることを目的に、本調査を実施することにしました。「医療・介護に伴う労働負担の軽減を図ることが、ケアの質や働く環境の改善につながる」という視点に立ち、本調査を通じて、腰痛予防対策の立案、および職場改善の提言を行っていきたくと考えております。

ぜひ、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

調査方法と個人情報の保護

この調査は、あなたの自由な意思による無記名自記式の Web 調査です。下記 QR コードにアクセスいただくか、URL をご確認ください、Web にてご回答ください。

調査分析において、個人は特定されません。また、みなさまがご記入くださった内容や分析結果等は、研究目的以外の使用はいたしません。

倫理委員会の審査

本調査は、事前に滋賀医科大学研究倫理委員会の審議を経て学長の許可を得て実施します。

【調査実施責任者】

一般社団法人日本ノーリフト協会 代表理事 保田淳子
滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門 特任准教授 北原照代

【調査に関連した質問やお問合せ先】

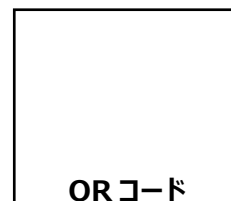
一般社団法人日本ノーリフト協会事務局
メールアドレス：noliftcare@gmail.com

TEL：078-862-8503

平日（月曜日～金曜日）10：00～17：00

上記内容をご確認いただき、ご協力頂ける職員様は下記 URL もしくは QR コードよりご回答をお願い致します。

調査 URL：



QRコード

調査入力締切り：日付（実施説明書送付から 4 週間後）

本調査は、わが国の医療・介護現場における腰痛予防に資する貴重な調査となります。
項目数が多いですが、全項目の回答にご協力をお願い致します。